

女ばかりでチームを組み、「介護の仕事をしている人たち」のインタビューをしている。

サークル活動のように。

将来のわが身も考え、介護現場ってどんな感じなのか、気になることを調べてみたくなるのは私の職業病のようなものだ。

そのチームの一人が先日、階段から落ちて骨折！ SOSが入っ

今後のサービス業には介護資格

て、急遽ピンチヒッターを私が務めることになった。

取材先は東京、巣鴨の美容院「と和」。店主さんとは開店前の

午前8時半に約束済み。久しぶりに目覚まし時計をかけ、頑張っ

て、朝早くに出かけて行った。場所は巣鴨の地蔵通り。



▶ 508

仕事なのだ。

介護ヘルパーの資格のある美容師さんたちが、家まで出張してきてくれるとか。

お出かけが不自由な高齢者や、病气やけがで美容院に行けない人たちのために、髪を切ったり、染めたり、パーマをかけたり。

さらに訪問美容のメニューには、ネイル、エステ、ヘッドス

昔から「おばあちゃんの原宿」

と言われ、市の立つ日は、露店が並ぶ楽しい場所だ。が、開店前の商店街はまだひっそりしていた。

それにしても美容院がなぜ介護の仕事に関係あるの？ と言われそうだけれど、実は、こここのころ急に増えているのが訪問美容の

パ、メイクまでも並んでいる。

介護時代の到来で、いろんな分野で知らないうちに仕事が規制緩和されているらしいのだ。

要介護4以上の在宅高齢者に美容券が発行され、費用が補助されているような市区町村もあるけれど、何がどう変わったのか、厚生

イラスト・ヨツモトユキ



はこういうことになっているのか」と、びっくりすることが多い。

その日、取材した美容院は、訪問美容した先の利用者が意欲的になり、店にも来てくれるようバリアフリーを徹底している。鏡の前のいすも移動式で、車いすが即入る。人前はちよつと…、という人のための個室まである。

大介護時代に向けて、介護予防や在宅介護がうたわれているけれど、それに呼応するビジネスもいろいろと立ち上がっている。

なんだか今後のサービス業には、介護ヘルパー資格が必須という感じ。ツアーコンダクター、介護タクシー、高齢者向け便利屋さん…。いずれ介護資格って、運転免許みたくになるのかな、なんて気がしてしまう。

(ノンフィクション作家)